

五、再処理施設の工事計画

項目	平成年度 5												平成年度 6												平成年度 7												平成年度 8												平成年度 9												平成年度 10												平成年度 11												平成年度 12											
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
主要工程	▲着工																																																																								▲再処理の開始業																							

項目	平成年度 13												平成年度 14												平成年度 15												平成年度 16												平成年度 17												平成年度 18												平成年度 19												平成年度 20																							
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
主要工程																																					▲ウラン試験開始																								▲使用済燃料による総合試験開始																																															

項目	平成年度 21												平成年度 22											
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
主要工程													▲しゅん工											

- (注) (1) 使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な施設の試験のために、使用済燃料(約 50 t・Upr)を受け入れる。
 (2) ウラン試験は、劣化ウランを用いた模擬燃料集合体等(約 60 t・U)を使用して行う試験をいう。
 (3) しゅん工とは、再処理設備本体等に係る使用前検査の合格をいう。
 (4) 使用済燃料輸送容器保守設備及びそれに係る設備は、再処理事業開始後50か月以内に設置する。
 (5) 第1ガラス固化体貯蔵建屋西棟及び西棟に係る施設は、しゅん工後3年以内に設置する。